

2023年 JAF全日本ジムカーナ選手権 参戦レポート

第2戦 MAZDA SPIRIT RACING CUP IN TAMADA

主催者ホームページ



開催日 : 2023年4月15日(土)~4月16日(日)
開催場所 : スポーツランドTAMADA (広島市安佐北区)



2023年 4月 23日 深川 敬暢

2023年 JAF全日本ジムカーナ選手権 第2戦
 広島はスポーツランドTAMADAラウンドの結果を
 ご報告致します。

毎年、大会の事前告知から、マツダ(株)を巻き込んで
 地域を盛り上げてくださる、シリーズ随一の華やかな
 大会で、今年も3000人を超える観客を迎えて開催
 されました。

自身としてはテスラで2戦目の大会。優勝を目指し
 ましたが、残念な結果となりました。



参加車両 テスラモデル3

1. 結果

PE1クラス 4位/11台中

ベストタイム : 1'10"609

優勝とのタイム差 : 2"346

参加車両 : テスラモデル3 (ZAA-3L23P)

車両名 : GEPARDエナペWMモデル3



表彰式 4位表彰

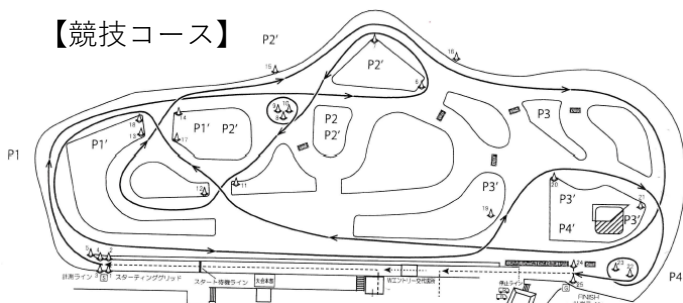
【リザルト】

クラス	順位	車名	名前	車名	型式	引付	W	Top差	1H中絶	順	1 Heat	順	P	D	2H中絶	順	2 Heat	順	P	D	Best
PET	7	10	山野 哲也	EXEDY71RS A110S	7BA-DFM5P4	BS		0.00	51.44	1	1'08.724	1			50.77	1	1'08.263	1			1'08.263
	2	11	大橋 政晴	DL#G-LFWA110S	7BA-DFM5P4	DL	1	0.79	51.77	2	1'09.053	2			52.78	4	1'20.063	11	2		1'09.053
	3	9	森谷 和久	アーリーストック+GIT3RS	ABA-991MA176	BS		1.82	52.38	3	1'10.078	3			52.64	3	1'10.827	3			1'10.078
	4	5	栗川 敬輔	GEPARDエナペWMモデル3	ZAA-3L23P	BS/M		2.35	53.48	6	1'11.331	5			52.28	2	1'10.809	2			1'10.809
	5	4	熊野 弘之	JORSILの燃料DLA110	7BA-DFM5P4	DL		2.91	53.21	4	1'11.170	4			53.19	5	1'11.490	4			1'11.170
	6	6	大川 裕	アルヒーア A110S	7BA-DFM5P4	B/D/Y/M		3.65	54.00	7	1'12.271	7			53.58	7	1'11.912	5			1'11.912
	7	3	山家 丈夫	RIGID71RSGULFR	3BA-CDDNFF	BS		3.68	53.42	5	1'12.197	6			53.35	6	1'11.938	6			1'11.938
	8	8	角田 謙志	ADVANTトップA45	CRA-176J52	YH		3.78	54.27	9	1'12.486	8			54.06	8	1'12.040	7			1'12.040
	9	7	段上 孝之	YH7イマン	ABA-981MA123	YH		4.24	54.16	8	1'12.557	9			54.10	9	1'12.499	8			1'12.499
	10	1	大橋 政人	DL#G-LFWA110S	7BA-DFM5P4	DL	11	5.35	56.13	11	1'25.233	11		2	54.97	10	1'13.613	9			1'13.613
	11	2	藤本 和子	BSのりちA/Racingゴルフ	ABA-AUCHH	BS		6.30	55.95	10	1'15.750	10			56.08	11	1'14.563	10			1'14.563

金曜日の練習走行はドライ、土曜日の公開練習はウェット、決勝はまたドライと3日間
 通してコンディションが変化し、まだまだデータ不足の中、着実な改善を進める方向で決勝に
 臨みました。今回、ドライ路面ではテスラのアドバンテージが減り、ロスが大きくなる事が
 よくわかり、今後に向けてロス部分の改善が必須である事がわかりました。

2. 競技コース・車両仕様

【競技コース】



ハイスピードコーナーと長めのストレート
 小さな島回りを組み合わせたコース。

360° 周りが2か所設定された事が、テスラに
 にとって不利なコースでした。また、ドライの
 グリップが薄く、重量によるグリップ限界の
 車速差がAWDのアドバンテージを削ぐ結果と
 なりました。

【車両仕様】

項目	仕様	
タイヤ	Fr	BS RE71RS 245/40R19
	Rr	BS RE71RS 245/40R19
サスペンション	GEPARD/エナペタル e 12	
スプリング	Fr	HAL高反発 7in 22k
	Rr	HAL高反発 5in 30k
ブレーキパッド	Fr	WinmaX ittz R4
	Rr	WinmaX ittz R7
運転席シート	BRIDE ZETAIV	

【コースコンディション】

	1本目	2本目
天候・気温	くもり ・11°C	くもり ・18°C
路面・温度	ドライ ・15°C	ドライ ・29°C

今回は、金曜日にフロントのスプリングレート
 変更テストを実施。4本走行のみでは、タイムに
 繋がるセットに到達しなかったので天候変化を
 考慮して、土曜日から第1戦の仕様に戻して臨み
 ました。

3. 走行結果

1本目：1'11"331

前日のウェット2番手タイムから、初戦金曜日のドライセッティングを基準に減衰をセットしてスタート。スタート後1コーナーへのアプローチからオーバー挙動が出てしまいイメージとズレが発生。グリップの薄い路面、1本目15°の路面に対して、リヤの減衰不足と思われました。1コーナーのグリップ感から2コーナーの突っ込みは甘めに。その後も各所でリズムがズレた走行が続いてしまいました。中間計測前の通称「タスキがけ」へ向かう最終コーナーからの立上りでも、複雑な路面傾斜にリズムを外してアンダーオーバーの挙動でロス。その後の中間計測前コーナーもリズムの合わない挙動が出ており、乗り切れない走行で終了となりました。結果的には、タイヤエアをやや高めにセットした事もマイナス方向に働いた様で、走行データの蓄積としては次につながる走行ではありましたが。

📺 走行動画
(車載+外撮り)



1本目

2本目：1'10"609

天気予報では雨が降り始める予想が、幸い雨が遅れてドライで走れる事に。1本目の走行を分析し、路面温度上昇を踏まえて、減衰/エア圧/トラクション配分を決定してスタート。1本目リズムを崩した1コーナーは、狙い通りの動きで、セット変更の辻褄が合う事を確認。1本目に余らせてしまった2コーナーはきっちり攻めようと進入したが、止まり切れず。ブレーキング手前の跳ねる路面を見逃していた事に後で気付きました。その先は気を取りなおしてドライブした結果、イメージに近い走行に。但し、やはり360°回転する2か所は、どうしても半径が大きくなかなか立上りが来ない走行。最終360°は立上りのアクセルオンが早すぎた様で横に流れて、1本目よりも0.5秒遅いターンとなり、4位タイムまでしか伸ばせませんでした。

📺 走行動画
(車載+外撮り)



2本目

【ご参考】当日のZummy Racing Family様によるYoutube配信動画録画

- ・PE1クラス決勝第1ヒート (12分30秒～)
- ・PE1クラス決勝第2ヒート (3分～)



第1ヒート



第2ヒート



4. トピックス その他

第1戦で大きく話題となった、テスラモデル3。驚異的な加速に驚きの声は今回も多くのギャラリー関係者から聞く事ができました。また、現在A110で参戦中の今回ゼッケン6番 大川選手が、早速テスラモデル3を購入し参戦に向けて準備開始されました。想定よりも早いEVの増加、嬉しい限りです。今後もさらに増える様に、良い走りや結果、PRをして行きたいと思っております。今後とも、よろしくお願い致します。

以上